

入札公告

下記のとおり一般競争入札を行いますので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の6及び新潟市契約規則（昭和59年新潟市規則第24号）第8条の規定に基づき公告します。

令和6年6月11日

新潟市長 中原 八一

1 入札に付する事項

(1) 件名	防火衣（日勤、指令課用）
(2) 品質・規格・数量など	仕様書のとおり
(3) 契約の条項を示す場所	新潟市財務部契約課
(4) 入札日時・場所	令和6年7月4日 午後1時30分 新潟市役所本館2階契約課入札室
(5) 履行期限・履行場所	令和7年2月14日まで 新潟市消防局他
(6) 入札方式	契約方式は、総価での入札とします。
(7) 入札保証金	新潟市契約規則第10条第2号により免除
(8) 入札を無効とする場合	新潟市契約規則第17条第1項の規定に該当するときは無効とし、入札者が談合その他不正な行為をしたと認められる場合はその入札の全部を無効とします。
(9) 入札を中止とする場合	新潟市契約規則第19条第1項の規定に該当する場合は、入札を中止することがあります。
(10) 談合情報等により公正な入札が行われないおそれがあるときの措置	談合情報等により、公正な入札が行われないおそれがあると認められるときは、入札期日を延期し、または取りやめることがあります。
(11) 契約保証金	新潟市契約規則第33条及び第34条の規定によります。
(12) 予定価格	公表しません。
(13) 最低制限価格	設けません。
(14) 契約締結について議会の議決	無

2 入札参加資格の要件

- (1) 新潟市内に本店、支店又は営業所があり、かつ、当該本支店等が本市の競争入札参加資格者名簿（物品）に登載されている者
- (2) 地方自治法施行令第167条の4第1項の規定に該当しない者
- (3) 新潟市競争入札参加有資格業者指名停止等措置要領の規定に基づく指名停止措置を受けていない者
- (4) 新潟市競争入札参加有資格業者指名停止等措置要領の別表第2の9の措置要件に該当しない者

3 入札の参加手続

一般競争入札に参加を希望する場合、次により申請してください。なお、入札参加申請者名は入札終了まで公表しません。

- (1) 提出書類 一般競争入札参加申請書（別記様式第2号） 2部
- (2) 提出先 新潟市財務部契約課物品契約係
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1
新潟市役所本館2階
電話 025-226-2213
FAX 025-225-3500
メール keiyaku@city.niigata.lg.jp
- (3) 提出方法 持参又は郵送
- (4) 申請期限 令和6年6月25日
- (5) 受付期間 入札公告の日から申請期限の日の午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く）

4 質疑書の提出について

質疑事項がある場合は、次により質疑書を提出してください。

- (1) 様式 別紙に準じて作成してください。
- (2) 提出期限 令和6年6月19日
- (3) 提出先 3（2）に同じ
- (4) 提出方法 ファクシミリ又はメールとします。
- (5) 回答日 令和6年6月24日まで
- (6) 回答方法 個別にファクシミリにて回答するほか、入札控室に掲示及びホームページへ掲載します。
- (7) その他 電話での受付は一切行いません。

質疑書には、正確な番号及び件名を記入してください。また、返信用ファクシミリ番号を必ず記入してください。

5 入札時の注意事項

- (1) 入札参加申請後に入札を辞退する場合は、書面で届け出てください。
- (2) 入札時間に遅れた場合は、入札に参加できません。
- (3) 入札場所に入室できるのは、入札参加申請者毎に原則1名とします。
- (4) 代理人が入札する場合は、委任状を提出してください。
- (5) 落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があっても、その端数の金額を切り捨てた金額）をもって落札者の入札価格とします。入札参加申請者は、消費税にかかる課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載してください。なお、入札金額の訂正は無効とします。
- (6) 予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、再度入札を一回行います。再度入札の方法については、別途指示します。ただし、初度入札で無効とされた者、失格となった者及び最低制限価格を設けたときであって最低制限価格未満の入札を行った者は、再度入札に参加できません。
- (7) 予定価格の制限の範囲内で最低の価格を提示した者が2者以上ある場合は、くじ引きで落札者を決定します。

6 落札者の決定

落札者が決定したときは、直ちにその旨を落札者に通知するとともに速やかに公表します。

ただし、落札者と決定した者が契約締結までの間に指名停止を受けた場合は、落札決定を取り消し、仮契約を締結していた場合は、本契約を締結しないものとします。

別紙

質 疑 書

年 月 日

住 所
商号又は名称
代表者氏名

(押印不要)

(担当者)

(FAX番号)

- 1 番 号 新潟市公告第269号
- 2 件 名 防火衣 (日勤、指令課用)

質 疑 事 項

別記様式第2号

一般競争入札参加申請書

年 月 日

(宛先) 新潟市長

申請者

郵便番号

所在地

商号又は名称

代表者氏名

(押印不要)

担当者

(電話)

(FAX番号)

下記入札の参加資格要件を満たしており、入札に参加したいので、新潟市物品等一般競争入札実施要綱第5条第1項の規定により申請します。

記

公告年月日	令和6年6月11日
番 号	新潟市公告第269号
件 名	防火衣(日勤、指令課用)

防火衣仕様書

新潟市消防局

目次	頁
第1 総則	
1 目的	1
2 防火衣の概要	1
3 防火衣、しころの性能	1
4 防火衣、しころの条件	1
5 数量、納品場所	1
6 納期	1
7 防火衣、しころの品質保証	1
8 原反品質証明書等の提出	1
9 完成品見本の提出	1
10 採寸	1
11 検査	2
12 工業所有権等に関する事項	2
13 品質管理	2
14 その他	2
15 問い合わせ先	2
第2 仕様	
1 表生地	3
2 透湿防水層	3
3 断熱層兼裏地	4
4 その他材料	4
5 構造	5
6 サイズ	8
7 縫製	8
8 納品の梱包	8
9 許容差	8
10 別図	9

第1 総則

1 目的

この仕様書は、新潟市（以下「当市」という。）が買入れする防火衣について必要な事項を定めることを目的とする。

2 防火衣の概要

この防火衣は、火災発生建物への屋内進入を実施する消防隊員がより安全に消火活動等を行うために求められる機能を有すること。上衣は消防隊員の特徴的な逆三角形の上半身に沿った形状であり、下衣は膝の屈伸による可動域を立体裁断で設計された製品であること。また、熱伝達防護のために、適切な空気層が形成されるよう設計されていること。

3 防火衣、しころの性能

この防火衣及びしころは、総務省消防庁発出消防消第44号「平成29年3月7日消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン(改定版)について（通知）」に適合した製品であること。

4 防火衣、しころの条件

この防火衣及びしころに使用する材料、付属品は全般にわたって十分に検査が施され、この仕様書の全てを満たし、仕上がりが優良な製品であること。表地の素材はメタ型アラミド及びパラ型アラミドの織物とし、紫外線等による劣化を防ぐためにパラ型アラミドが表に出てこない二重織り構造とすること。しころのインターフェースは防火帽との接合する隙間がなく、シールド面を下げた状態で顔面を隙間なく密閉できる構造であること。

5 数量、納品場所

別紙「品目数量等一覧表（防火衣）」のとおり

6 納期

令和7年2月14日

7 防火衣、しころの品質保証

表生地、透湿防水層、断熱層兼裏地の生地材料及び反射テープ、ファスナー、釦、縫製糸等の付属品について納入日より5年間における品質に著しい不良が認められた場合、受注者負担で修繕をすること。但し、使用方法、使用環境、保管方法、洗濯方法等に対し適切でない状況下での破損等についてはこの範囲に含まない。

8 原反品質証明書等の提出

受注者は第2仕様に示す表生地、透湿防水層、断熱層兼裏地について、契約後15日以内に消防局総務課へ提出すること。

(1) 原反品質証明書および生地見本

(2) 総務省消防庁発出消防消第44号「平成29年3月7日消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン(改定版)について（通知）」の適合を証明する公的機関の検査(試験)成績書(検査設備等の理由で公的検査機関において検査が不可能な項目については、社内試験成績書でも可とする。)

9 完成品見本の提出

完成品見本1着を消防局総務課へ提出し、当局が検査を実施し承認を得た後に本生産に取り掛かること。

10 採寸

当市の指示により採寸を実施すること。

11 検査

完成品は納品場所において当市の検査を受けた後、納入すること。なお、検査の結果、不備がある場合は当市の指示する日までに再検査を受けること。

12 工業所有権等に関する事項

工業所有権に関する法令に抵触する事項等の有無に十分留意すること。なお、問題等が発生した場合は、受注者側の責任で解決すること。

13 品質管理

受注者は納入前に自主検査を行うとともに、品質管理の適正を図ること。

14 その他

- (1) 契約締結後、この仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、当市と協議の上決定する。
- (2) 受注者は、納品後であっても、製品に不備が認められたときは、誠意をもって修理または交換するものとする。その場合の費用は受注者の負担とする。
- (3) 契約終了後、この契約に対しての業務評価を実施します。納入場所へ納品した際に確認をもらった納品書等を添付すること。
- (4) 天変地異や疫病の流行等の不可抗力により当事者が契約上の義務を果たせない場合は、当市と協議をする。

15 問い合わせ先

契約課物品契約係

F A X 番号 : 025-225-3500

E メールアドレス : keiyaku@city.niigata.lg.jp

第2 仕様

1 表生地

織り傷、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないこと。

<生地規格>

素材混紡率	メタ系アラミド繊維	61%	JIS L1030
	パラ系アラミド繊維	31%	
	ポリアミドイミド繊維	4%	
	難燃レーヨン	3%	
	導電性繊維	1%	
組織	変化織		JIS L1096
染色、色相	原液着色 ダークネイビー／ゴールド		
質量	250 g / m ² ± 5 g		JIS L1096
加工	撥水加工		
密度	たて 121 よこ 85 本 / 2.54 cm		JIS L1096
見掛番手・織度	たて 表 40 / 2		JIS L1096
	たて 裏 30 / 2 + 55 / 2		
	よこ 表 40 / 2		
	よこ 裏 38 / 2		
引張強さ	たて 2000N 以上		ISO 13934-1
	よこ 2000N 以上		
引裂強さ	たて 200N 以上		ISO 13937-2
	よこ 300N 以上		
撥水度	初期 5 級以上		ISO 4920
摩擦帯電電荷量	4 μC / m ² 以下		JIS L 1094

2 透湿防水層

織り傷、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないこと。

<生地規格>

素材混紡率	メタ系アラミド繊維	50%	JIS L1030
	難燃レーヨン	50%	
	PTFE メンブレン ラミネート加工		
組織	平織		JIS L1096
色相	紺		
質量	148 g / m ² ± 5 g		JIS L1096
密度	たて 75 よこ 54 本 / 2.54 cm		JIS L1096
見掛番手・織度	たて 45 / 1		JIS L1096
	よこ 45 / 1		
透湿度	1000 g / m ² / h 以上		JIS L1099B-2 法
人工血液バリア性	クラス 6		JIS T 8060-2007 D 法
ウイルスバリア性	クラス 6		JIS T 8061-2010 D1 法

3 断熱層兼裏地

織り傷、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないこと。

<生地規格>

素材混紡率	メタ系アラミド繊維 70%	JIS L1030
	パラ系アラミド繊維 29%	
	導電性繊維 1%	
組織	凹凸状ハニカム織	JIS L1096
染色、色相	原液着色 濃紺	
質量	151 g / m ² ± 5 g	JIS L1096
密度	たて 75 よこ 54 本 / 2.54 cm	JIS L1096
見掛番手・織度	たて 40 / 2	JIS L1096
	よこ 40 / 2	
引張強さ	たて 900N以上	ISO 5081-1077
	よこ 700N以上	
引裂強さ	たて 90N以上	ISO 4674-1977 A2 法
	よこ 100N以上	
ピリング	4級以上	JIS L 1076 A 法

4 その他材料

反射テープ	ユニチカスパークライト社製 ST-05N 75mm、50mm
	オラフォルジャパン社製 GP-030 25mm、50mm
ファスナー	YKK 社製 10CF-DA3、5CF-DAL コイルファスナーロック機能付
面ファスナー	YKK 社製 難燃性クイックロン FA タイプ 25mm、38mm、50mm
	FAA-25-853 (b) 米国航空管理規定準拠品
袖口ニット	メタ系アラミド繊維 100%ニットリブ
袖口袋	メタ系アラミド繊維および難燃レーヨンを用いた織物に PU ラミネートした三層構造の透湿防水層
ドット釦	モリト社製 7050 真鍮材
縫糸	メタ系アラミド繊維 100%40 番糸
	(反射テープおよび補強材 パラ系アラミド繊維 100%30 番糸)
補強生地	Tencate 社製 アラシールド
耐磨耗表生地	EPRA 難燃樹脂コーティング表生地
緩衝材	膝 ケブラーフェルト
	肩 TXFK90KS 3D 不織布 PTFE フィルムラミネート
防水生地・補強布	アキレス社製 耐熱メタリック 1910
D 環	一般構造用圧延鋼材 SS400

5 構造

(1) 上衣（形状およびデザイン等は別図 1 参照）

ア 襟

- (ア) 表生地 2 枚重ねに防水生地を中心に重ね合わせた三層構造であり、襟高は後中央 95mm とする。
- (イ) 呼吸器面体と襟の緩衝を避けるよう設計された首周り寸法であること。
- (ウ) チンストラップを縫い付け、開閉は面ファスナーとする。
- (エ) 襟付け部分内側に、襟吊りを縫い付ける。

イ 前身頃

- (ア) 上前に前立を縫い付け、面ファスナーとフロントファスナーを併用した開閉とする。ファスナー接続用タブを補強生地で縫い付ける。
- (イ) 上前身頃及び下前身頃にマイクフックを補強生地で縫い付ける。
- (ウ) 反射テープをダブルステッチで縫い付ける。
- (エ) ファスナースライダーに赤色の牛革のタブを取り付ける。

ウ 肩

- (ア) 肩当ては耐摩耗生地を重ね合わせ縫い合わせる。
- (イ) 肩当ての内側へ緩衝材を 1 枚重ね縫い合わせる。

エ ポケット

(ア) 左右胸ポケット

- a H180mm W100mm D50mm の寸法でポケット袋を縫い付ける。
- b フラップは中央 2 分割に割れた形状であり、開閉用面ファスナーを縫い付ける。
- c マチはポケットを折り畳めるようコバステッチを入れ、面ファスナーを縫い付けた 3 方マチとする。
- d 袋内側にループを縫いつける。
- e ポケット下部に水抜き穴を取り付ける。

(イ) 左右腰ポケット

- a 袋内側にループを縫い付ける。
- b マチはポケットを折り畳めるようコバステッチを入れ、面ファスナーを縫い付けた 2 方マチとする。
- c フラップは面ファスナー開閉式とし補強生地を縫い合わせ、フラップ先端に補生地によるタブを縫い付ける。
- d ポケットの底に耐摩耗表生地を縫い合わせ、水抜き穴を取り付ける。
- e フラップに補強生地を用いたループで D 環を縫い付ける。
- f フラップ全体を縫い付ける範囲の裏側に補強布を縫い合わせる。

オ 袖

- (ア) 8 枚接ぎで腕の形状に沿った超立体構造とし、袖先は手背側が長く、掌側が短い構造とする。
- (イ) 中衣と接続するためのドット釦付ベルトを縫い付け、さらに面ファスナーで固定できる構造とする。
- (ウ) 袖口周りに補強生地を重ねて縫い付ける。
- (エ) 袖口の下のはぎは耐摩耗表生地で切り返しをする。
- (オ) 反射テープをダブルステッチで縫い付ける。

- (カ) 左肩に腕章用ループを表生地で縫い付ける。
- (キ) 左上腕に H75mmW180mm のワッペン台座を縫い付ける。

カ 後身頃

- (ア) 反射テープをダブルステッチで縫い付ける。
- (イ) 裾は前屈みによる捲れを防ぐ形状とする。

キ 脇身頃

- (ア) 左右へ補助ポケット携行用ループを補強生地で縫い付け、表生地裏側へ補強布を縫い合わせる。
- (イ) 左右裾へランヤード用スリットを設け、面ファスナーとドットボタンで開閉する構造とする。またスリット表側縁に補強生地を縫い合わせる。
- (ウ) 左右裾へ補助ポケットの固定用の面ファスナーを縫い付ける。

ク ネーム加工

熱圧着反射シートをホットプレスで強固に取り付ける。

ケ 中衣接続

- (ア) 見返しに中衣接続用のファスナーを縫い付ける。
- (イ) 袖先に中衣接続用のドット釦付ベルト及び面ファスナーを縫い付ける。
- (ウ) 後身頃に中衣接続用の面ファスナーを縫い付ける。

(2) 下衣（形状およびデザイン等は別図 2 参照）

ア 身頃

- (ア) 膝の屈折および活動性を重視した立体裁断であり、前身頃の膝部分により多くの空気層が形成される構造とする。
- (イ) 膝あては補強材と緩衝材をかぎ型に裁断しトリプルステッチで縫い合わせる。
- (ウ) 上下前身頃にカラビナフックを補強生地で縫い付け、表生地裏側へ補強生地を縫い合わせる。

イ ポケット

- (ア) 左右側面にフラップ付き 2 方マチポケットを縫い付ける。
- (イ) 2 分割のフラップは傾斜角 10° の角度取り付け、面ファスナー開閉式とし、フラップ先端に補強生地のタブを縫い付ける。
- (ウ) ポケット取り付け位置は、真横中心より前方向へ 20mm 置とする。

ウ 腰帯

- (ア) 上前に前立を縫い付け、面ファスナーとフロントファスナー併用した開閉式とし、上隅にドット釦を取り付ける。
- (イ) サイズアジャスト用ベルトは、ベルトを 0 環に通し、面ファスナーで端末を固定する。
- (ウ) サスペンダー取り付けは、前身頃 2 箇所および後身頃 2 箇所へ、ベルト 0 環を用い縫い付け、ドット釦と面ファスナーでサスペンダーを固定する。
- (エ) 有効幅 130mm の墜落制止用ベルトループを 4 箇所に縫い付ける。また、ベルトループ内側へベルトズレ防止用面ファスナーを縫い付ける。

エ 裾部

- (ア) 反射テープをダブルステッチで縫い付ける。
- (イ) 側面にファスナーを縫い付ける。
- (ウ) 裾に面ファスナー開閉式タブを縫い付ける。
- (エ) 裾口に補強生地を縫い合わせる。

- オ 中衣接続
- (ア) 見返しに中衣接続用のファスナーを縫い付ける。
 - (イ) 裾先に中衣接続用のドット釦付ベルトを縫い付ける。
 - (ウ) 裾先に中衣接続用の面ファスナーを縫い付ける。
- (3) 上下の中衣
- ア 本体見返しにファスナーで接続できる構造とする。
 - イ 袖口先端にニットリブを縫い付ける。
 - ウ 上衣袖口および下衣裾口に本体接続用のドット釦付ベルトを縫い付け、さらに袖口は面ファスナーで本体と接続できる構造とする。
 - エ 透湿防水層と断熱層兼裏地を重ねて縫い合わせ、外周にアラミド製パイピングを縫い合わせる。
 - オ 透湿防水フィルム側の縫い目にシームテープ加工をする。
 - カ 上衣左右の脇下および背面中心に保冷剤入れポケットを縫い付け、面ファスナーでポケット間口を閉じる構造とする。
- (4) サスペンダー（形状およびデザイン等は別図3参照）
- ア 耐久性のある平ゴム製を用いた伸縮性のあるベルトに、アジャスターバックルと本体接続用0環を縫い付ける。
 - イ 表生地にクッションを封入した肩パッドをベルトに縫い付ける。
- (5) 補助ポケット（形状およびデザイン等は別図4参照）
- ア ポケット袋の寸法は、H260mm、W90mm、D80mmとする。
 - イ フラップは開閉用面ファスナーを縫い付ける。
 - ウ マチはポケットを折り畳めるようコバステッチを入れ、面ファスナーを縫い付けた3方マチとする。
 - エ 上衣に接続するフラップはドット釦2箇所を開閉し上衣本体にぶら下げ、ポケット裏側へ面ファスナーを縫い付け固定できる構造とする。
- (6) ワッペン
- 左上腕に取り付けるワッペン（表生地の無地）を1枚付属すること。
- (7) しころ（デザイン等は別図5参照）
- ア 形状は当市の指定する防火帽用に設計された形状とする。
 - イ 表生地をしころの表側と裏側へ各々1枚裁ちとし重ね合わせ、中間層は透湿防水層による三層構造とする。
 - ウ 前合わせは面ファスナー止めとし、しころが防火帽の顔面保護板から外れないようにすること。
 - エ 折返しは面ファスナー止めとする。
 - オ 防火帽への取付けはドット釦止めとし、釦を取り付ける箇所へ補強を講じる。
- (8) 片布（形状および記載事項は別図6参照）
- ア 取り扱い表示を記載した片布を上下本体見返しへ縫い付ける。
 - イ 当市が指定する片布を防火衣の上下およびしころの見返しに縫い付ける。
- (9) ネーム加工（フォントおよび寸法等は別図7参照）
- 熱圧着反射シートをホットプレスで強固に取り付ける。

6 サイズ

(1) 上衣寸法

	S	M	L	LL	3L	4L	5L		
適合身長	155	165	170	175	180	185	190		
着丈 前/後	62/70	68/76	70/78	72/80	74/82	77/85	80/88		
胸囲	118	128	132	136	140	146	152		
中胴	104	110	114	118	122	128	134		
裾囲	106	112	116	120	124	130	136		
肩幅	50	54	55	56	57	59	61		
袖丈 外/内	53/50	58/55	60/57	62/59	64/61	66/63	68/65		
裾丈 (外)	78	85	87.5	90	92.5	95.5	98.5		
単位：c m 寸法許容差：±5% 袖丈特寸サイズ±4 c m 刻み調整									

肥満体			O	XO	XXO				
適合身長			170	175	180				
着丈 前/後			70/78	72/80	74/82				
胸囲			132	138	144				
中胴			124	130	136				
裾囲			126	132	138				
肩幅			55	57	59				
袖丈 外/内			60/57	62/59	64/61				
裾丈 (外)			87.5	90.5	93.5				
単位：c m 寸法許容差：±5% 袖丈特寸サイズ±4 c m 刻み調整									

(2) 下衣寸法

	S	M	L	LL	3L	4L	5L
腰囲	78-86	84-92	90-98	96-104	102-110	110-118	118-126
股下 (長さ)	69	73	75	77	79	81	83
股上 (前)	33	34	35	36	37	38	39
渡り幅	38	39.5	41	42.5	44	46	48
裾幅	24.5	25.5	26	26.5	27	28	29
単位：c m 寸法許容差：±5% 股下丈特寸サイズ±4 c m 刻み調整							

(3) 上記サイズ規格に適合しない場合は特注サイズで製作すること。

7 縫製

- (1) 各部の縫い合わせは縫い目の目とび、外れ等がないものであること。
- (2) 縫い代は各部分に適した充分なものでありオーバーロックが施してあること。
- (3) 強度を必要とする個所にカン抜き止めミシンを入れる。
- (4) 地縫い飾り縫いの始めと終わりには必ず返し縫いを入れる。
- (5) 地縫い飾り縫いの縫い目ピッチは11針(3cm)を標準とする。

8 納品の梱包

- (1) 上衣、下衣、しころおよび付属品等を一式とし専用バッグに入れ、所属、氏名を明記し、納品場所に納品すること。
- (2) 納品その他については、当市が別に指示する。

9 許容差

本仕様書に記載する寸法の許容範囲は±5%以内とする。

別図1 上衣



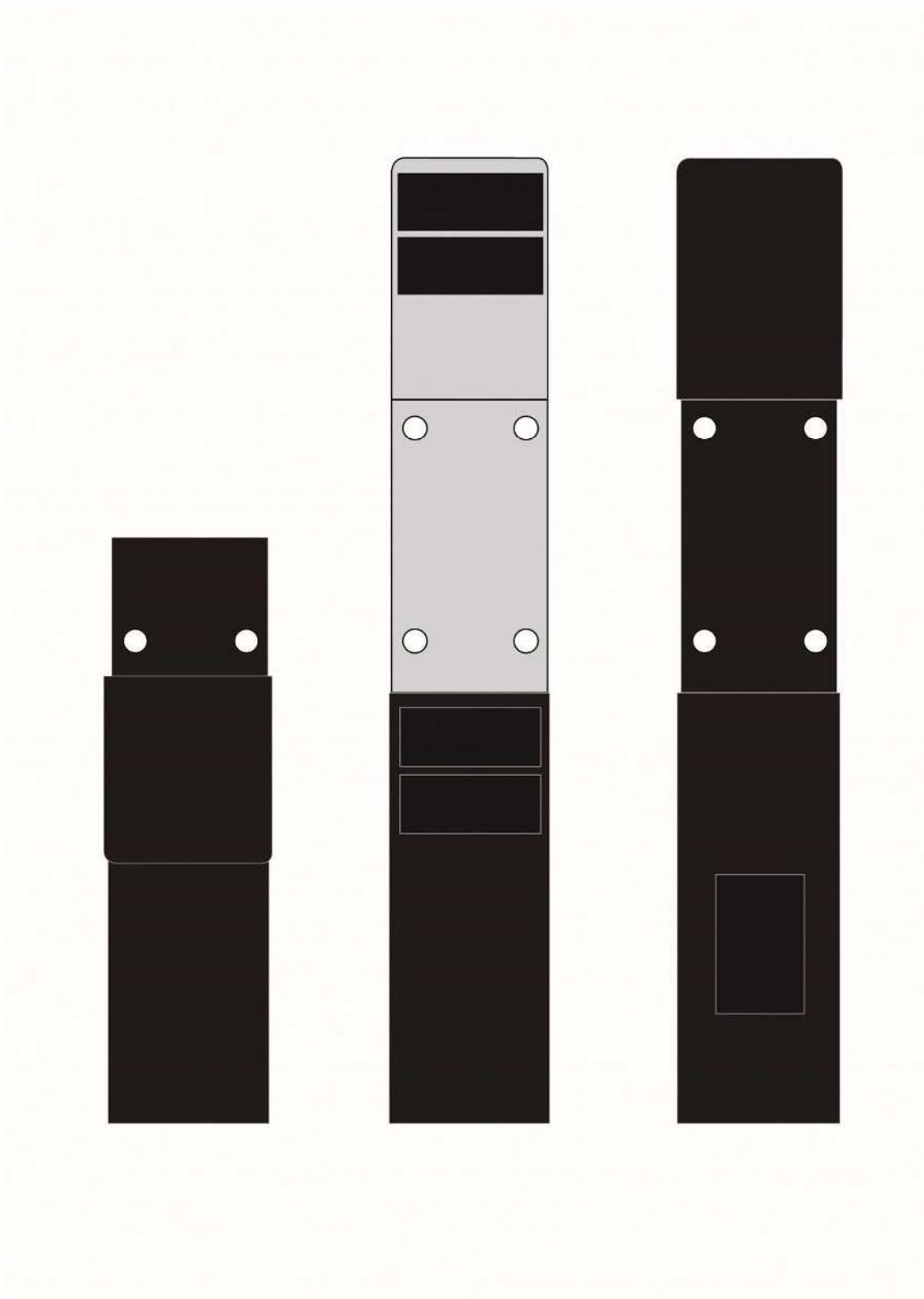
別図2 下衣



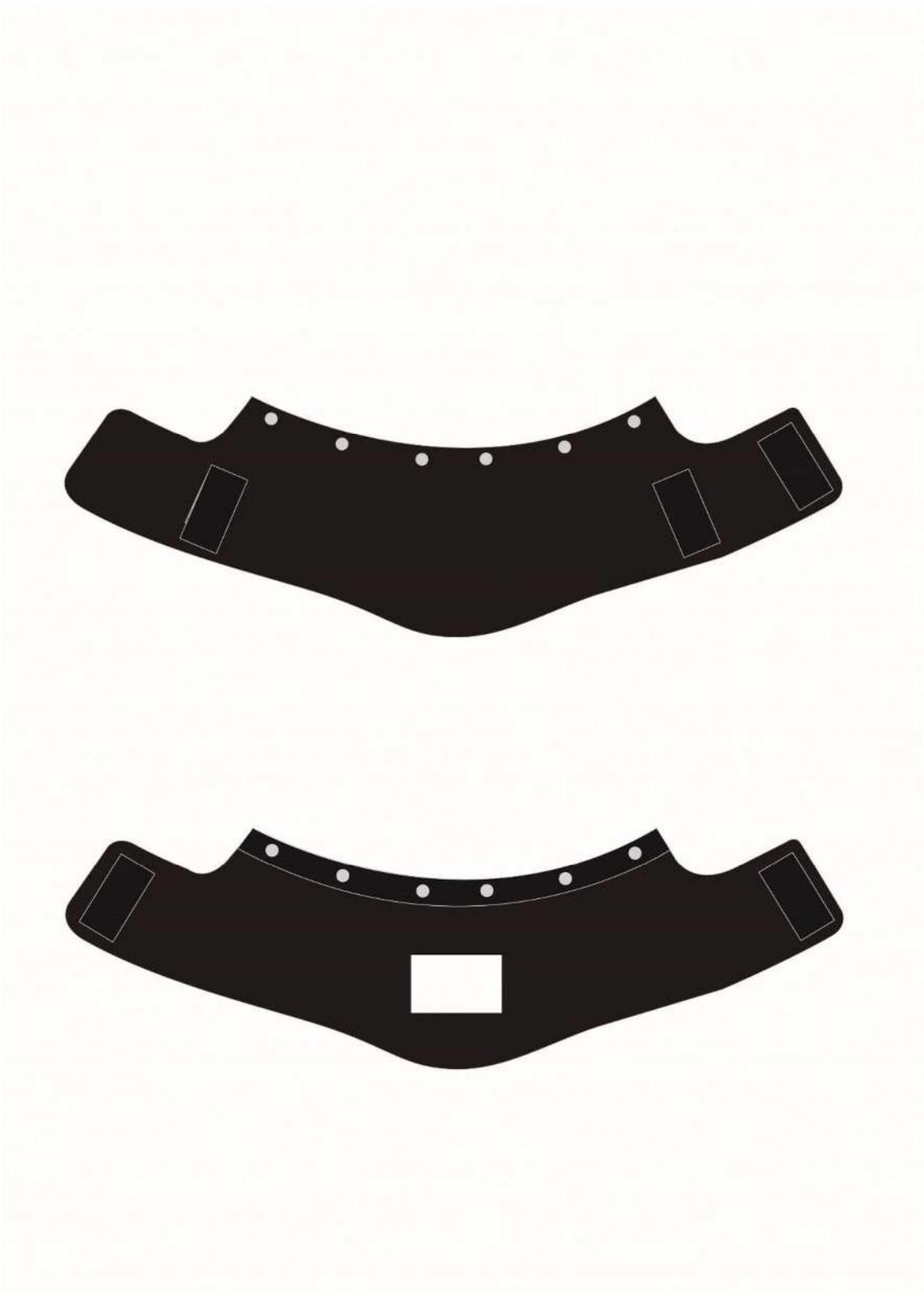
別図3 サスペンダー



別図4 補助ポケット



別図5 しころ



別図6 片布

新潟市消防局	
氏名	
貸与年度	
備品番号	
事業名	石油貯蔵施設立地対策等交付金施設

別図7 ネーム

■背面背ヨーク／反射銀／ホットプレス加工



■背面裾／反射黒／ホットプレス加工



■右上腕／反射銀／ホットプレス加工



品目数量等一覧表(防火衣)

別紙

	納入場所	住所	電話番号	納入数量
1	消防局	中央区鐘木 257番地1	025-288-3220	41
2	北消防署	北区葛塚 5095番地	025-387-0119	8
3	東消防署	東区山木戸 1丁目1番20号	025-275-9111	6
4	中央消防署	中央区鐘木 257番地1	025-288-3119	11
5	江南消防署	江南区泉町 3丁目2番1号	025-381-2327	5
6	秋葉消防署	秋葉区程島 1958番地1	0250-22-0175	8
7	南消防署	南区親和町 8番1号	025-372-0119	5
8	西消防署	西区槇尾 80番地1	025-262-2119	10
9	西蒲消防署	西蒲区前田 414番地1	0256-72-3309	9
合計				103